

今月は

子供の安全のお話

近年増え続けている子供たちを狙った犯罪。本当に許せないよね。子供たちを犯罪から守るために、札幌市、そして地域の人たちは一生懸命に考えています。どんなことをしているのか、まーくんが見てきたよ。

みんなが知りたい市役所のお仕事を紹介するよ!



「まーくん」と「はかせ」の

何やってるの!? 市役所って

このページに関するお問い合わせは
教育委員会管理課
☎211-3831



登録している人のほかにも、たくさんの方が活動に携わっています

おうち



小学1年～3年全員が持ちます

防犯ブザー

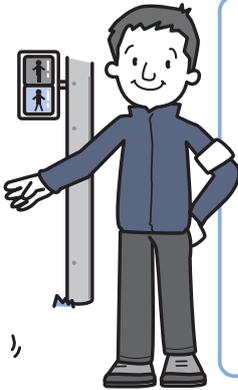
今年度から、市内の小学1年～3年約46,000人を対象に、非常の際に大音量の警報が鳴る防犯ブザーを貸し出します。登下校時には身に着けることを徹底して、不審者から子供たちを守ります。

子供でも使いこなせるの?

ピンを抜くかボタンを押すことで警報を鳴らせます。また、子供たちが使うことから、ある程度水に濡れても大丈夫なものにします。



通学路



みんなで子供たちを守ります

地域の見守り活動

町内会やPTAなどによる子供たちの見守り活動が広まって、市内のほぼすべての学校区で活動が行われています。さらに、市は、昨年10月からスクールガードを導入。登録した地域の人たちが、登下校時の見守りや、学校周辺の巡回活動をしています。対象は市立の小学校、幼稚園、養護学校の全229校で、2月末現在の登録人数は172校で461人です。



学校



新1年生のみんな、入学おめでとう!

今年4月に、市内の小学校に入学した新1年生は約15,000人。新しいお友達をはじめとして、子供たちみんなの安全を守っていきます。

不審者の侵入を防ぎます

インターホン

平成13年9月に、市立の小学校、中学校、養護学校、2階に職員室がある幼稚園の全310校にテレビカメラ付きインターホンを設置。お客さんが来たら職員室のモニターで確認して、遠隔操作で開錠することで、不審者の侵入を防いでいます。

厚別区共栄小学校
ささき ひろゆき
佐々木 裕之先生



本校では区内の企業やPTAからの寄贈により、3年前から全学年に防犯ブザーを配布しています。最初は戸惑いもありましたが、今ではすっかり子供たちになじんでいます。子供たちの安全を学校だけで守るのはとても難しいことです。これからも地域の皆さんと協力しながら、子供たちを守っていききたいと思います。



玄関に来ている来客(右)と職員室でモニターを確認している職員(上)



「子どもの安全」情報を提供しています

北海道警察ホームページ www.police.pref.hokkaido.jp → 各警察署 → 生活安全課